

## 新青丸共同利用研究航海報告書

- \* 航海番号                   KS-23-8 次研究航海
  
- \* 航海名称                   (和文) 伊豆・小笠原海嶺における乱流特性の実態把握および海洋深層・地震検知フロートの実証実験  
                                  (英文) Observations of turbulent mixing at Izu-Ogasawara ridge and deep ocean seismic by floats
  
- \* 観測海域                   (和文) 伊豆小笠原海嶺  
                                  (英文) Izu-Ogasawara ridge
  
- \* 航海期間                   令和 5 年 6 月 18 日 (日) ~ 令和 5 年 6 月 27 日 (火)
  
- \* 出港日時・場所           6 月 18 日 14 時 横須賀港
  
- \* 入港日時・場所           6 月 27 日 10 時 横須賀港
  
- \* 寄港期間・場所           無し
  
- \* 研究課題   伊豆・小笠原海嶺における乱流特性の実態把握および海洋深層・地震検知フロートの実証試験
  
- \* 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
      井上 龍一郎・海洋研究開発機構・主任研究員・rinoue@jamstec.go.jp
  
- \* 研究内容、主調査者 (e-mail アドレス)、観測項目
  1. 深海用フロート Moby 試験と投入点における比較のための 4000m までの CTD 観測  
   細田 滋毅 (hosodas@jamstec.go.jp)、電気伝動度・水温・圧力 (CTD)、フロート音響データ、塩分検定用サンプル
  2. 伊豆・小笠原海嶺における内部潮汐場把握のための連続定点 CTD/LADCP 観測  
   伊地知 敬 (ijichi@eps.s.u-tokyo.ac.jp)、CTD、流速
  3. 船底 ADCP 観測による内部潮汐場の把握  
   伊地知 敬 (ijichi@eps.s.u-tokyo.ac.jp)、流速
  4. 乱流強度把握のための投棄式乱流計 VMP-X 観測  
   古島 靖夫 (furus@jamstec.go.jp)、乱流シア、水温
  5. 乱流計付きフロートによる乱流計測  
   井上 龍一郎 (rinoue@jamstec.go.jp)、乱流シア、乱流水温、CTD
  6. GPS ラジオゾンデ放球による高層気象観測  
   川合 義美 (ykawai@jamstec.go.jp)、GPS 位置情報、風向、風速、気温、湿度
  7. 連続水蒸気観測  
   川合 義美 (ykawai@jamstec.go.jp)、水蒸気量プロファイル、雲画像

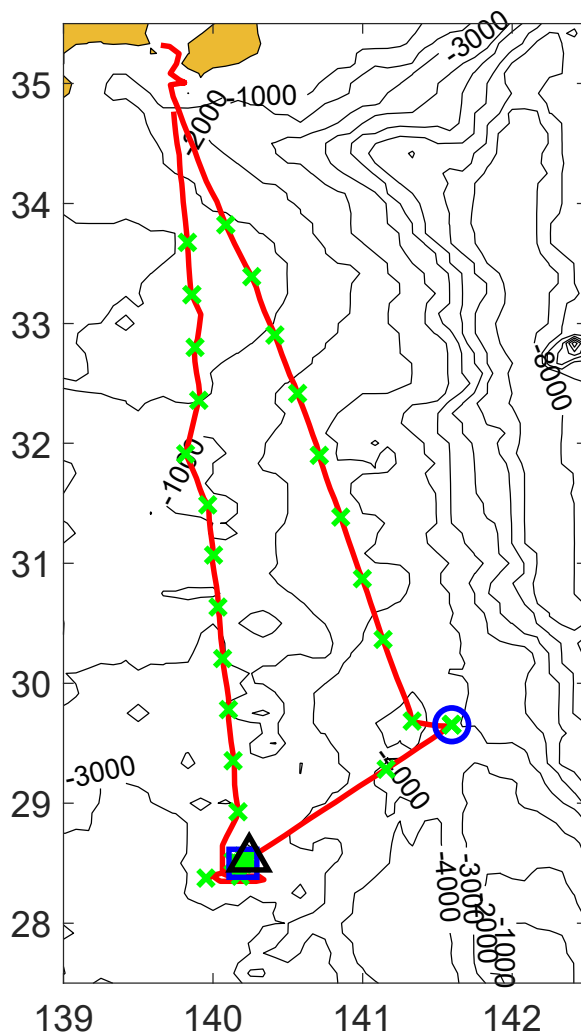
## 8. 海底地形調査

井上 龍一郎 (rinoue@jamstec.go.jp)、水深

### \* 乗船研究者氏名・所属・職名

井上 龍一郎 (海洋研究開発機構・地球環境部門・主任研究員)  
細田 滋毅 (海洋研究開発機構・地球環境部門・グループリーダー)  
伊地知 敬 (東京大学大学院理学系研究科・助教)  
大林 政行 (海洋研究開発機構・海域地震火山部門・主任研究員)  
川合 義美 (海洋研究開発機構・地球環境部門・グループリーダー代理)  
古島 靖夫 (海洋研究開発機構・地球環境部門・グループリーダー代理)  
近藤 優子 (神戸大学大学院理学研究科、D1)  
村上 聡 (神戸大学大学院理学研究科、M1)  
澤田 尚樹 (京都大学大学院理学研究科、M2)  
野口 忍斗 (東北大学大学院理学研究科、M1)  
宮田 一希 (東北大学大学院理学研究科、M1)  
佐野 芳 (三重大学大学院生物資源学研究科、M2)

### \* 航跡・測点図・観測点・海底地形



FL1:青丸、FL2:青四角、VM-1:黒三角、緑バツ:ラジオゾンデ、赤線:航跡